

本 会 会 報

学会だより

◇ 幹事会議事録

日時：2015年9月10日（木）15：00～18：00

場所：新潟大学五十嵐キャンパス 農学部棟 C304 号室

出席者：（計40名）吉村淳，堤伸浩，熊丸敏博，加藤清明，貴島祐治，佐藤裕，石川隆二，北柴大泰，笹沼恒男，高畑義人，中村俊樹，石本政男，小松田隆夫，半田裕一，矢野昌裕，吉田均，岩田洋佳，矢野健太郎，吉田薫，掛田克行，富田因則，中園幹生，小林麻子，村井耕二，清水顕史，築山拓司，寺石政義，吉川貴徳，加藤鎌司，草場信，佐藤和広，松田靖，安井秀，最相大輔，宅見薫雄，高牟禮逸朗，宍戸理恵子，片山健二，犬飼義明，佐藤豊
委任状：（計11名）岩永勝，三浦秀穂，江面浩，梅原三貴久，三吉一光，川上直人，金子幸雄，二宮正士，一谷勝之，甲斐浩臣，今村順

欠席者：（計2名）山本俊哉，荻原保成

1. 各常任幹事経過報告

A) 庶務 総務

会員数の推移，学会誌発行部数，中西印刷との業務委託契約（第128回講演会）について報告があった。

B) 科研費・HP

BS 科研費，シンポ科研費の申請，採択および執行状況，HP 更新およびアクセス数，メール配信数について報告があった。

C) 農学会

平成27年度農学会シンポジウムの開催，平成28年日本農学賞受賞候補者の推薦依頼，日本農学会役員選挙の候補者リスト作成のための推薦依頼，平成28年常任委員担当学会（育種学会の次回担当は平成33～34），平成28年シンポジウムテーマ決定について報告があった。

D) 地域

各地域の活動報告：各地域幹事より，地域活動について報告があった。

E) 会計

会計報告，中西印刷との契約内容の見直し（J-STAGE），任意団体会計報告の予定（解散後），幹事事務費の取扱い，一般社団法人としての会計期間（2/1～1/31），法人化後の旅費規程（案）の作成について報告があった。

F) 英文誌編集

2015年度BS編集状況，果樹特集（66巻1号）の進捗状況，サツマイモ特集（67巻1号を予定），編集委員の辞退について報告があった。

G) 和文誌編集

編集状況について報告があった。

H) 集会

2015年秋季大会開催準備状況，2016年春季大会日程，次々回以降の開催予定について報告があった。

I) 一般社団法人への移行について

吉村会長より，一般社団法人日本育種学会登記の作業進捗状況，平成28・29年度代議員選挙実施予定について説明があった。

2. 審議事項

(1) 平成27年度日本育種学会賞について

学会賞等選考委員会（堤伸浩委員長，矢野昌裕，高畑義人，佐藤和広，小松田隆夫，吉田薫，江面浩各委員）委員長より選考理由の説明の後，幹事会の議を経て，次の3件を選定した。

1. 辻本壽（鳥取大学）「異種遺伝資源によるコムギ育種技術の開発と応用」

2. リポキシゲナーゼ欠失オオムギ育成グループ（サッポロビール（株），岡山大学，サスカチュワン大学，アデレード大学）「リポキシゲナーゼ欠失変異を利用した高品質ビールオオムギ品種の育成」

3. 国立研究開発法人農業生物資源研究所 遺伝子組換えカイコ研究グループ「高機能シルクを産生する遺伝子組換えカイコの実用品種開発」

(2) 平成27年度日本育種学会奨励賞について

学会賞等選考委員会委員長より選考理由の説明の後，幹事会の議を経て，次の3件を選定した。

1. 堀清純（国立研究開発法人農業生物資源研究所）「日本水稲品種間の育種選抜形質に関する遺伝学的研究」

2. 白澤健太（かずさDNA研究所）「野菜類のゲノム解析とゲノム育種技術の開発」

3. 田中剛（国立研究開発法人農業生物資源研究所）「ムギ類のゲノム配列情報解析に関する研究」

(3) 平成28年度日本農学賞受賞候補者の推薦について

吉村会長より3件の推薦があった旨報告があり，学会賞等選考委員会による審議を経た結果，推薦順位1位の松岡信氏（名古屋大学）を推薦したい旨，説明があった。審議の結果，承認された。

(4) 内規の改定について

一般社団法人化移行後の会長，副会長の選出について，任意団体日本育種学会の選出方法を踏襲し，①新・旧代議員による意向投票，②直後の定期代議員会（旧幹事会）による承認，を経て選出することが提案され，審議の結果，①と②について承認された。尚，この手順で進めるためには，運営内規の一部改訂が必要であることが指摘された。

(5) 編集委員の推薦について

BS編集幹事より，田原誠氏（岡山大学），船附秀行氏（近

畿中国四国農業研究センター) 両名の英文誌・編集委員への推薦があった。審議の結果、承認された。

(6) その他

任意団体「日本育種学会」の会計について、会員にメール配信し承認を得ることが提案された。定期代議員会まで承認を引き延ばす際の不利益を勘案して、任意団体「日本育種学会」の年内(2015.12.31)解散を想定しており、審議の結果承認された。

3. 関連報告

以下の委員会より資料に基づき活動報告がなされた。

1. シンポジウム委員会
2. 農学会技術者教育推進委員会 JABEE 関連報告
3. 男女共同参画推進委員会
4. 将来構想委員会
5. 記者発表

4. その他

優秀発表賞(幹事用)の投票依頼があった。学会賞等選考委員会による農学進歩賞への推薦課題の選定の制度化が提案された。

◇ 日本育種学会第128回講演会選定課題記者発表報告

発表日時：平成27年8月28日(金)

場所：東京大学弥生講堂アネックス・エンゼル研究棟講義室

出席者：熊丸敏博，岩田洋佳

参加機関：毎日新聞社，日経BP社，日刊工業新聞，日本農業新聞，化学工業日報，科学新聞社(全6名)(後日，日本経済新聞の記者に資料のみを渡す。)

講演課題の中から選定された4課題について記者発表を実施した。

発表タイトル：

- (1) 北海道在来イネ「赤毛」のルーツ；北海道開拓のフロンティアスピリッツを紐解く
- (2) 「早生」，「耐冷性」，「収量」 最北の地で稲作を成功に導いた3要素

- (3) 現在の北海道品種に引継がれる「赤毛」DNA

- (4) ビッグデータが品種改良の世界を変えるーゲノミクスセレクションによる植物集団の改良効果の実証ー

講演タイトル：

- (1) 講演番号：613

「イネ，北海道へ来た道～北海道在来イネ「赤毛」の由来」
藤野賢治・小原真理(農研機構・北海道農業研究センター)

- (2) 講演番号：614

「在来品種は本当に多様か？～北海道水稲在来品種郡の場合～」

池ヶ谷智仁・小原真理・藤野賢治(農研機構・北海道農業研究センター)

- (3) 講演番号：615

「イネ北海道品種群における遺伝子変異」

高野翔・藤野賢治(農研機構・北海道農業研究センター)

- (4) 講演番号：103

「ゲノミックセレクションを用いた多収性普通ソバ系統の育成」

原尚資・矢部志央理・上野まりこ・榎宏征・木村達郎・西村哲・安井康夫・岩田洋佳・大澤良(筑波大・院生命環境科学，農研機構中央農研，京都大・院農，トヨタ自動車(株)FP部バイオ・ラボ，東京大・院農学生命科学)

◇ 地域談話会だより

〈東北地区〉

第10回東北育種研究集会

2015年11月14日(土)に第10回東北育種研究集会(大会委員長：鳥山欽哉)が東北大学農学部で開催されました。3部構成で，第1部が講演とポスター発表，第2部が「東北大学農学カルチャー講座」と共催で，「宮城県における園芸作物と清酒酵母の育種」についてお二人の講演，第3部が情報交換会，の順で行いました。東北育種研究集会参加者は74名でしたが，その他に東北大学農学カルチャー講座の一般参加者が22名ありました。

ポスター発表では36題の講演があり，非常に活発な質疑応答がありました。優秀ポスター賞へのエントリーが27題ありそのうち3題のポスターが優秀ポスター賞として表彰されました。

優秀ポスター賞受賞は以下の3題です。おめでとうございます。

P1：細粒性を有する「恋ほのか」由来の胴割れ耐性遺伝子領域のQTL解析

☆古家美紅・石川隆二(弘前大・農学生命)

P5：O. barthii および O. latifolia におけるカドミウム耐性の解析

☆宮川典子¹・藤枝英里²・櫻井健二²・高橋秀和²・渡辺明夫²・赤木宏守²(1. 秋田県大院・生物資源，2. 秋田県大・生物資源)

P12：トウガラシ chinense 種の果実色関連遺伝子 Ccs, Psy の変異型アレルの多様性について

☆鶴巻啓一¹・稲葉有紀²・松本幸也²・笹沼恒男^{1,2}(1. 岩手大・院連合農学，2. 山形大・農)

開催の詳細は以下の通りです。

1. 日時：平成27年11月14日(土) 13:00～17:30
2. 会場：東北大学大学院農学研究科講義棟第10講義室 および第3講義室
3. プログラム

第1部 13:25 開会挨拶(東北大学大学院農学研究科 鳥山欽哉)

13:30 講演 畠山勝徳氏(岩手大学農学部)
「ハクサイにおける根こぶ病抵抗性

育種研究」

14:10 ポスター発表

15:50 第1部閉会

第2部 「(東北大学農学カルチャー講座)と共催)

16:00 はじめに(東北大学大学院農学研究科 鳥山欽哉)

16:10 特別講演 鈴木誠一氏(宮城県農業・園芸総合研究所)
「宮城県における園芸作物育種」

16:50 特別講演 橋本建哉氏(宮城県産業技術総合センター)
「宮城県における清酒酵母の育種と酒造り」

17:30 第2部閉会

第3部 18:00 優秀ポスター賞表彰式
情報交換会

4. ポスター発表 ☆: 優秀ポスター賞エントリー発表者 ○: 発表者

P1 細粒性を有する‘恋ほのか’由来の胴割れ耐性遺伝子領域のQTL解析

☆古家美紅・石川隆二(弘前大・農学生命)

P2 与論島カンキツ遺伝資源の多様性評価

☆伊藤健吾・石川隆二(弘前大・農学生命)

P3 カンボジア野生イネ遺伝資源の多様性評価

☆山森晃一・田村紀子・石川隆二(弘前大・農学生命)

P4 他種が同所的に生息するオーストラリア野生イネ集団における異質な個体の形質評価

☆菅原魁人¹・加東未来¹・島田美理¹・一谷勝之²・石川隆二¹(1. 弘前大・農学生命, 2. 鹿児島大・農)

P5 *O. barthii* および *O. latifolia* におけるカドミウム耐性の解析

☆宮川典子¹・藤枝英里²・櫻井健二²・高橋秀和²・渡辺明夫²・赤木宏守²(1. 秋田県大院・生物資源, 2. 秋田県大・生物資源)

P6 イネの低温発芽性を向上させる *qGLT3-2* 領域の解析

☆佐藤知弘¹・手塚耕一¹・川本朋彦²・柴田智²・加藤和直²・高橋竜一²・櫻井健二³・渡辺明夫³・高橋秀和³・赤木宏守³(1. 秋田県大院・生物資源, 2. 秋田県農試, 3. 秋田県大・生物資源)

P7 ナバナ「はるの輝」における低種子稔性の遺伝解析

☆齋藤愛佳・高畑義人(岩手大・農)

P8 ハクサイ光感受性関連遺伝子の機能解析

☆小野寺大樹¹・北本尚子¹・由比進²・高畑義人¹(1. 岩手大, 2. 東北農業研究センター)

P9 ブラシカ属の一年生と多年生における再分化能及び形態の差異

☆金澤佑太¹・高畑義人¹・横井修司²(1. 岩手大・

農, 2. 現: 大阪府立大・生命環境科学)

P10 シロツメクサの複葉形成に関わる SLM1 遺伝子の機能解析

☆大橋ほなみ・松田修一・瀬川香・斎藤靖史(岩手大・農・寒冷バイオ)

P11 早春まき露地作型を可能にする極晩抽性ハクサイ品種の育成

○北本尚子¹・西川和裕²・松浦拓也³・高畑義人¹・由比進⁴(1. 岩手大・農学部, 2. サカタのタネ, 3. 岩手農研, 4. 東北農研)

P12 トウガラシ *chinense* 種の果実色関連遺伝子 *Ccs*, *Psy* の変異型アレルの多様性について

☆鶴巻啓一¹・稲葉有紀²・松本幸也²・笹沼恒男^{1,2}(1. 岩手大・院連合農学, 2. 山形大・農)

P13 中国青海省チベット高原におけるムギ類遺伝資源の現状

○笹沼恒男¹・田中裕之²・佐藤和広³・朱明婧⁴・龍春林⁴(1. 山形大・農, 2. 鳥取大・農, 3. 岡山大・植物研, 4. 中国科学院)

P14 SDS 沈降法と *Pin-D1* 遺伝子多型解析によるタルホコムギ遺伝資源の製パン性評価

○赤池隆亮¹・柿崎彩佳²・笹沼恒男^{1,2}(1. 山形大・院農, 2. 山形大・農)

P15 コーカサス遺伝資源に見られたタルホコムギの種内分化した2グループ間の形態的差異

☆平田ありさ¹・赤池隆亮²・柿崎彩佳¹・西田英隆³・Zezua Asanidze⁴・Tamar Bragvadze⁴・Olga N. Kovaleva⁵・Tamara N. Smekalova⁵・笹沼恒男^{1,2}(1. 山形大・農, 2. 山形大・院農, 3. 岡山大・院環境生命, 4. イリア州立大, 5. バビロフ研究所)

P16 イネ穂のかたちづくりに関する分子遺伝学的解析

経塚淳子¹・徳永浩樹¹・吉田明希子¹・山崎諒²・近森正信²・植本悟史¹(1. 東北大・生命, 2. 東大・農学生命)

P17 小胞輸送制御因子とオーキシン排出担体 PIN による植物細胞の極性形成機構

植本悟史¹・古谷将彦²・中野明彦³・福田裕穂³・経塚淳子¹(1. 東北大・生命, 2. 奈良先端大, 3. 東大・理)

P18 *Brassica oleracea S-45* の特性解析

☆吉田郁也・山本雅也・北柴大泰・西尾剛(東北大・農)

P19 ‘聖護院大根’の分離集団から見出された自家和合性系統の原因調査

☆菅野翔太・殿崎薫・北柴大泰・西尾剛(東北大・農)

P20 ダイコン (*Raphanus sativus* L.) の class II *S* ハプロタイプの *SRK* 対立遺伝子の塩基配列決定

☆長谷山祐里恵・登内英美子・北柴大泰・西尾剛(東北大・農)

P21 *Brassica napus* における塩ストレス下での根の伸

- 長についての系統間差と GWAS による関与遺伝子座の解析
 ☆真壁由衣・李峰・北柴大泰・西尾剛（東北大・農）
- P22 *Brassica napus* における再分化能の系統間差と GWAS による関与遺伝子座の解析
 ☆齊藤光太郎・李鋒・北柴大泰・西尾剛（東北大・農）
- P23 重イオンビーム照射による塩害耐性イネの開発
 ○遠藤貴司¹・佐伯研一¹・佐藤浩子¹・中込佑介¹・阿部知子²・佐藤雅志²・鳥山欽哉³（1. 宮城県古川農業試験場, 2. (独) 理化学研究所イノベーション推進センター, 3. 東北大・農）
- P24 重イオンビーム照射処理によるインドネシア在来イネの早生化変異体作出へのアプローチ
 佐藤雅志¹・阿部知子²・鳥山欽哉¹（1. 東北大・農, 2. 理研・仁科）
- P25 細胞質雄性不稔イネへの変異源処理による稔性回復変異体スクリーニングの試み
 ○風間智彦¹・阿部知子²・鳥山欽哉¹（1. 東北大・農, 2. 理研・仁科）
- P26 スリランカ在来品種 KALUHEENATI に由来する

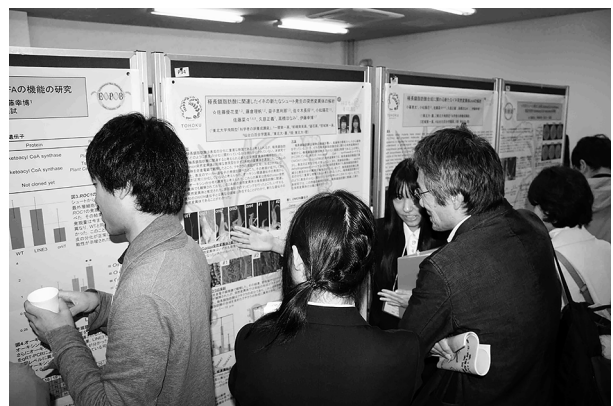
- 細胞質雄性不稔性とその稔性回復遺伝子の研究
 ☆志田怜那・風間智彦・鳥山欽哉（東北大・農）
- P27 世界のイネコアコレクションに由来する新規細胞質雄性不稔系統作出の試み
 ☆村上哲也・風間智彦・鳥山欽哉（東北大・農）
- P28 ベトナム・メコン川デルタ地帯の野生イネにおける細胞質雄性不稔性特異的ミトコンドリア遺伝子の調査
 ☆五十嵐圭介¹・石川隆二²・田村紀子²・中村郁郎³・真壁壮³・Pham Ha Thi Thu⁴・Lang Nguyen Thi⁴・Lam Dinh Thi⁵・Buu Bui Chi⁵・鳥山欽哉¹（1. 東北大・農, 2. 弘前大・農学生命, 3. 千葉大・園芸, 4. ベトナム・クーロンデルタイネ研究所, 5. 南ベトナム農業研究センター）
- P29 閉穎後の露出柱頭における稔実率の調査
 ☆川出駿・鳥山欽哉（東北大・農）
- P30 イネ開花期における香气成分の合成・放出に関わる遺伝子の解析
 ☆鎌田茉李恵・菅谷和音・堀雅敏・鳥山欽哉・風間智彦（東北大・農）
- P31 ミトコンドリア形質転換のためのミトコンドリア宅配型アグロバクテリウム開発へのアプローチ
 ☆梅津優香・伊藤幸博・鳥山欽哉（東北大・農）
- P32 バイオエタノール原料に適した稲わらの開発
 ☆市川晋¹・古川佳世子¹・園木和典²・伊藤幸博¹（1. 東北大・農, 2. 弘前大・農学生命）
- P33 イネのシュート発生に影響を及ぼす VLCFA の機能の研究
 ☆久慈正義¹・石橋まゆ^{1,2}・伊藤幸博¹（1. 東北大・農, 2. 現：古川農試）
- P34 極長鎖脂肪酸によるシュート発生に関わる新たなイネ突然変異体の解析
 ☆佐藤優花里^{1,2}・藤倉理帆^{1,2}・益子恵利那^{1,3}・佐々木長将^{1,4}・小松陽花^{1,5}・佐藤菜々^{1,6,8}・久慈正義⁷・高橋ほなみ⁷・伊藤幸博^{1,7}（1. 飛翔型「科学者の卵養成講座」, 2. 一関第一高, 3. 前橋育英高, 4. 釜石高, 5. 宮城第一高, 6. 仙台白百合学園高,



第1部講演の様子



第2部講演の様子



ポスター発表の様子

7. 東北大・農, 8. 現: 東北大・理)
- P35 極長鎖脂肪酸合成に関わる新たなイネ突然変異体 *oni4* の解析
小暮恵太¹・小松陽花^{2,3}・佐藤菜々^{2,4,5}・久慈正義¹・高橋ほなみ¹・○伊藤幸博^{1,2} (1. 東北大・農, 2. 飛翔型「科学者の卵養成講座」, 3. 宮城第一高, 4. 仙台白百合学園高, 5. 現: 東北大・理)
- P36 イネのシュート発生に必要な *ketoacylCoA synthase* と相互作用する *ketoacylCoA reductase* の探索
☆小暮恵太・伊藤幸博 (東北大・農)

〈中部地区〉

第23回育種学会中部地区談話会が、2015年11月21日(土)に愛知県農業総合試験場にて開催された。特別講演1題、一般発表30題に加え、園芸施設見学も実施され、中部地域5県の大学・研究機関からの69名の参加者間で活発な質疑・意見が交わされた。また一般講演については、参加者全員による投票で優秀ポスター賞を選定し、3題に授与するなど、互いの成果をたたえ合いつつ盛況の内に幕を閉じた。

発表課題は以下の通りである。

特別講演: 愛知の農業を技術で支える農業総合試験場の試験研究。中嶋泰則 (岐阜県農業技術研究所)

一般発表: ①いもち病圃場抵抗性遺伝子の集積効果。☆鈴木太郎¹・中村充¹・池田彰弘¹ (1. 愛知県農業総合試験場山間農業研究所), ②日持ち性が極めて高いスプレーカーネーション新品種「カーネ愛農1号」の開発。☆松野純子¹・堀田真紀子¹・山口博康²・久米貴志³・服部裕美⁴・山口徳之¹ (1. 愛知県農総試, 2. 農研機構花き研, 3. 愛知県政策企画局, 4. 愛知県海部農林水産事務所), ③ポリミキサ属菌の室内での安定的な感染方法の確立と感染抵抗性を持つ小麦品種の探索。○河原聡美¹・伊藤幸司¹・加藤満¹・坂紀邦¹・加藤周平¹・前島秀和² (1. 愛知県農業総合試験場, 2. 長野県農業試験場), ④野生イネイントロgression系統を用いた高温登熟性に関する染色体領域の探索。○濱頭葵¹・伊藤晃^{1,2}・高師知紀³・北野英己⁴・加藤満¹・杉浦和彦¹・井手康人¹ (1. 愛知県農業総合試験場作物研究部, 2. 現: 愛知県農業総合試験場企画普及部, 3. 株式会社ステージグリーン, 4. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター) ⑤ Bulk segregant analysis と次世代シーケンサーを利用した変異体原因遺伝子マッピングの改良。☆春原英彦・西内俊策・土井一行 (名大院生命農学), ⑥イネ Nested Association Mapping 集団の形質評価のための ICT 技術の利用。☆島津瑛久¹・森潤一¹・春原英彦²・西内俊策²・土井一行² (1. 名大農, 2. 名大院生命農学), ⑦イネにおける Nested Association Mapping 法の適用。☆森潤一¹・島津瑛久¹・春原英彦²・西内俊策²・土井一行² (1. 名大農, 2. 名大院生命農学), ⑧ NERICA を用いた葉形質を制御する QTL の探索。☆縣歩美¹・保浦徳昇³・

太田自由¹・土井一行¹・犬飼義明⁴・榎原大悟⁴・北野英己³ (1. 名大院生命農学, 2. 名大農, 3. 名大生物機能開発利用研究センター, 4. 名大農国センター), ⑨ソルガム *F₁* 育種の基盤となる高バイオマス性の遺伝学的解明。☆山口未来¹・中村(荒木)聡子²・藤井昭裕²・岡村進之介³・篠原(大前)梢²・伊藤祐介²・北野英己²・松岡信²・春日重光⁴・佐塚隆志² (1. 名古屋大学生命農学研究科, 2. 名大生物機能開発利用研究センター, 3. 名古屋大学農学部, 4. 信大農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター), ⑩普通ソバ (*Fagopyrum esculentum*) における高ルチン含量優良系統の育成 (2). ○馬場真優子¹・谷口岳志²・丸山秀幸²・南峰夫¹・松島憲一¹・根本和洋¹・塩川正則² (1. 信州大学院農学研究科, 2. 長野県野菜花き試験場), ⑪日本在来カブ品種 (*Brassica rapa ssp. rapa*) における *S* ハプロタイプの遺伝的多様性および特性。☆野村朋秀・根本和洋・朴永俊・南峰夫・松島憲一 (信州大学院農学研究科), ⑫キヌア (*Chenopodium quinoa*) における新規 *GBSS* 遺伝子の同定と発現解析。☆木下純一¹・根本和洋¹・朴永俊¹・南峰夫¹・松島憲一¹・西川智太郎² (1. 信州大学大学院農学研究科, 2. 農業生物資源研究所), ⑬カフェイン合成における *Camellia* 属植物のシーケンスおよび Dart スペクトルの比較。☆小川桜子¹・押川達夫²・芳野恭士²・荻野暁子³・古川一実² (1. 沼津工業高等専門学校専攻科, 2. 沼津工業高等専門学校, 3. 農研機構野菜茶業研究所(枕崎)), ⑭ボンバードメント法を用いたチャ(茶樹)の形質転換プロセスにおける培養特性。☆小泉舞衣¹・大嶋雅夫²・古川一実¹・田部井豊² (1. 沼津工業高等専門学校物質工学科, 2. (独)農研機構農業生物資源研究所), ⑮ *TCSI* 配列比較を目的とした *Camellia* 属植物の染色体 FISH。☆杉山昇平・☆太田智也・古川一実 (沼津工業高等専門学校物質工学科), ⑯文化的植物資源としてのワサビの保全学的研究—京都府南丹市芦生わさび祭り開催地区を事例に。☆山口博志・山根京子 (岐大応生), ⑰硬軟質性に関与する *Hardness* 遺伝子座の四倍性コムギにおける遺伝的多様性。☆山本美幸¹・丹野研一²・加藤輝雄¹・河原太八³・山根京子¹ (1. 岐大応生, 2. 山口大農, 3. 京大院農), ⑱岐阜大学オープンキャンパスにおけるワサビの嗜好および食味調査〜もっとワサビを食べようプロジェクト2015〜。☆道木菜那・☆村川未果・山根京子 (岐大応生), ⑲日本晴×豊コシヒカリの分離集団における *Hd16* 遺伝子の効果について。☆大槻潤矢・富田因則 (静岡大学グリーン科学技術研究所), ⑳国内トマト *F₁* 品種群を用いたゲノミックセレクションの有効性評価。○山本英司・松永啓・布目司・山口博隆・宮武宏治・大山暁男・福岡浩之 (農研機構野菜茶研), ㉑温州ミカン後代における雄性不稔性の遺伝様式。☆後藤新悟・吉岡照高・喜多正幸・太田智・清水徳朗 (農研機構・果樹研究所), ㉒表計算ソフトウェアを利用した遺伝子型情報評価システ



第 23 回中部地区談話会の参加者（上段）と優秀発表賞を受賞された皆さん（下段：左から講演番号⑬，⑭，⑮）

ム ‘GUGS’。○清水徳朗・後藤新悟・野中圭介（農研機構・果樹研究所），⑬オオムギ野生種の雌性 *S* 決定因子および *S* 遺伝子座領域の解析。☆浅原亮介¹・村上愛²・井上彩音²・掛田克行¹（1. 三重大院生物資源，2. 三重大生物資源），⑭ダイコン *F₃* 系統を用いたグルコエルシン含量の QTL 解析。○吹野伸子¹・北柴大泰²・柿崎智博¹・石田正彦¹・西尾剛²・小原隆由¹（1. 農研機構野菜茶研，2. 東北大院農学研究科），⑮イネの胚盤形成異常変異体の表現型の解析。☆舟橋成仁・石綿愛子・佐藤豊（名古屋大学大学院生命農学研究科），⑯嫌気条件下におけるダイズ品種タチナガハと伊豫大豆の根系発達の品種間差の解析。☆藤本周平¹・高橋宏和¹・望月俊宏²・高橋良二³・中園幹生¹（1. 名大院農，2. 九大院農，3. 作物研），⑰インドネシア熱帯低湿地適応品種作出に向けた鉄過剰障害に関する QTL 解析。☆平川嵩久¹・高橋宏和¹・西内俊策¹・春原英彦¹・土井一行¹・犬飼義明²・中園幹生¹（1. 名古屋大学院生命農学研究科，2. 名古屋大学農学国際教育協力研究センター），⑱ニカラグアテオシントの酸素漏出バリア形成に関与する染色体領域の特定。☆渡邊宏太郎¹・西内俊策¹・佐藤彩織¹・大森史恵²・高橋秀和³・間野吉郎²・中園幹生¹（1. 名古屋大学院生命農研究科，2. 農研機構畜産草地研究所，3. 秋田県立大学生物資源科学部），⑲ダイズにおける二次通気組織形成の分子機構の解明。☆延里充弘¹・高橋宏和²・平賀勸³・島村聡⁴・中園幹生²（1. 名大農，2. 名大院生命農，3. 農研機構作物研，4. 農研機構東北農研），⑳ A Histone H3 Lysine-27 Methyltransferase Complex is involved in lateral root development in rice. ☆Nonawin B. Lucob¹，Misuzu Takahashi-Nosaka²，Akihide Shibata¹，Hiroaki Inahashi²，Akira Yamauchi¹ and Yoshiaki

Inukai²（1. Graduate School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University, 2. International Cooperation Center for Agricultural Education, Nagoya University）

犬飼義明（名古屋大学農学国際教育協力研究センター）

〈九州・沖縄地区〉

第 10 回日本育種学会九州育種談話会が，九州・沖縄地域の独法・公設研究機関で構成される「九州農表研究発表会」と「日本作物学会九州支部」との合同で，2015 年 8 月 27 日（木）に鹿児島大学農学部にて開催された。育種談話会としては，10 課題のポスター発表があり（合同開催としては 61 課題），育種談話会参加者のみならず，「九州農表研究発表会」及び「日本作物学会九州支部」の参加者とも活発な議論が交わされた。発表題目（ポスター発表形式）は以下のとおりである。

（1）「Identification and linkage analysis of bacterial blight resistance gene from *XM14*, a mutant line」Constantine Busungu¹・一谷勝之²・坂上潤一²・穴井豊昭³・川口祥輝²・田中孝尚²・河邊弘太郎⁴・田浦悟⁴（1. 鹿大連大，2. 鹿大農，3. 佐賀大農，4. 鹿大遺伝子）（2）「イネ白葉枯病抵抗性突然変異系統 *XM6* の抵抗性遺伝子 *xa20* のマッピング」川口祥輝¹・田中孝尚¹・一谷勝之¹・Constantine Busungu²・河邊弘太郎³・田浦悟³（1. 鹿大農，2. 鹿大連大，3. 鹿大遺伝子）（3）「イネ品種あそみのりのイネ白葉枯病に対する抵抗性」田中孝尚¹・川口祥輝¹・一谷勝之¹・Constantine Busungu²・河邊弘太郎³・田浦悟³（1. 鹿大農，2. 鹿大連大，3. 鹿大遺伝子）（4）「イネ品種コシヒカリのイネ白葉枯病に対する病斑の伸びに關与する遺伝子」田浦悟¹・恒吉宏昭²・

Constantine Busungu³・一谷勝之²・川口祥輝²・田中孝尚²・河邊弘太郎¹ (1. 鹿大遺伝子, 2. 鹿大農, 3. 鹿大連大) (5)「プロアントシアニジンフリーと穂発芽耐性を両立した大麦系統の開発」杉田知彦¹・塔野岡卓司¹・荒木均¹・河田尚之² (1. 九州沖縄農研, 2. 京都学園大) (6)「ヤーコンの葉における抗酸化能の品種間差異および季節変動」松田靖・安田伸・村田達郎 (東海大農) (7)「ダイズの *sen1* 相同遺伝子変異体の単離と機能解析」真鍋亜衣・渡邊啓史・穴井豊昭 (佐賀大農) (8)「ダイズのイソフラボン合成を制御する MYB 転写因子の探索」弥吉俊樹・渡邊啓史・穴井豊昭 (佐賀大農) (9)「生物研世界イネコアコレクションにおける雑種弱勢遺伝子 *Hwa1-1*, *Hwa2-1* の分布」一谷勝之¹・古賀功明¹・坂口瑛進¹・田浦悟²・石川隆二³・手塚孝弘⁴・久保山勉⁵ (1. 鹿大農, 2. 鹿大遺伝子, 3. 弘前大農生, 4. 大阪府大院生命環境, 5. 茨大農) (10)「低線量のイオンビーム照射によるイネへの突然変異誘発」富永拓臣¹・田浦悟²・福德康雄³・尾上昌平³・清水圭一¹・橋本文雄¹・岡本繁久¹・佐藤宗治¹・内海俊樹⁴・玉置尚徳¹・吉田理一郎¹・一谷勝之¹ (1. 鹿大農, 2. 鹿大遺伝子, 3. 鹿大アイソトープ, 4. 鹿大理)

今年度より参加者投票により優秀発表賞を選定し, (1) の Constantine Busungu らの演題「Identification and linkage

analysis of bacterial blight resistance gene from *XM14*, a mutant line」を優秀発表賞に決定した。

甲斐浩臣 (福岡県農林業総合試験場)

日本育種学会会員異動(2015.7.21～2015.10.20)

◇普通会員入会：及川香梨 (岩手), 上妻馨梨 (宮城), 井澤毅, 岡田英二, 関根大輔 (茨城), 市原寿子 (千葉), 山田智之 (東京), 鈴木美穂 (神奈川), 雨宮剛 (岐阜), 木嶋暁子 (静岡), 藤井昭裕 (愛知), 山下裕樹 (大阪), 杉田知彦 (福岡)

◇学生会員入会：後藤及美, 島影玲子 (岩手), 池田結実, 梅森俊次, 須永啓太 (栃木), 七条光年, DUDHATE AMBIKA, 中村匠汰, 宮内菜奈子 (東京), 田中瑛大 (愛知), 許冲, 高田諒 (京都), BUSUNGU CONSTANTINE KWILASA (鹿児島)

住所変更等

◇普通会員：梶亮太 (北海道), 松元哲 (岩手), 経塚淳子 (宮城), 辻寛之 (神奈川), 深井英吾 (新潟), 津田勝利 (静岡), 上野広樹 (三重), 氷見英子 (岡山)